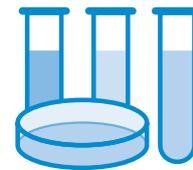


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

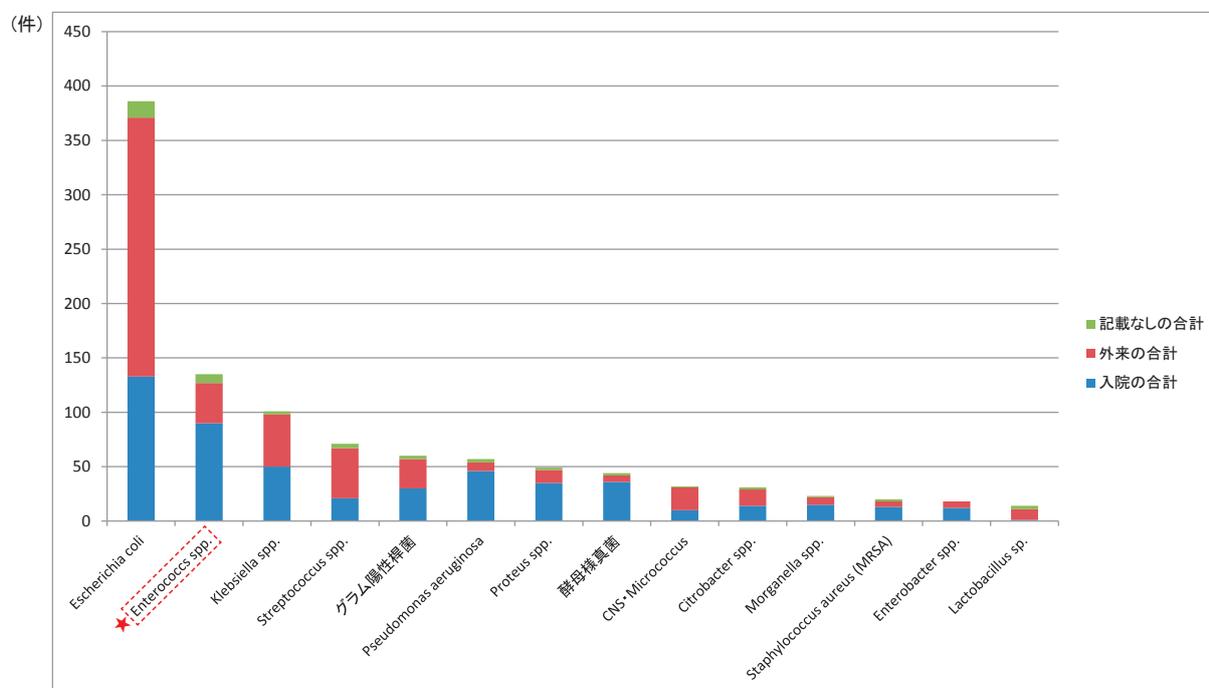


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、尿の細菌検出状況と薬剤耐性菌分離状況について掲載いたします。

【細菌検出状況】

【尿】細菌検出状況 2020年09月



尿からの細菌検出状況では、1年を通して *Escherichia coli* が一番多く検出されていますが、次いで *Enterococcus spp.* (腸球菌) が検出されています。

Enterococcus spp. はグラム陽性球菌で、健康人の腸管内に常在しています。本来は弱毒性であり、健康人では感染症が生じることはまれですが、免疫機能が低下した易感染者の場合には尿路感染症、胆道感染症、血流感染症などの起炎菌となることがあります。

人から分離される *Enterococcus spp.* では *E. faecalis* が最も多く、次いで *E. faecium* が一般的によく検出されます。

【薬剤耐性菌分離状況】

2020 年 9 月分

耐性菌名		呼吸器系		消化器系		泌尿器系		血液・穿刺液系		その他(膿など)	
		耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数
ESBL(基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ産生菌)	Escherichia coli	41%	13	7%	4	32%	132	33%	6	25%	6
	Klebsiella pneumoniae	27%	13	0%	0	21%	16	0%	0	0%	0
	Proteus mirabilis	36%	5	0%	0	43%	18	0%	0	45%	5
	Klebsiella oxytoca	0%	0	56%	5	5%	1	0%	0	13%	1
CRE(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)		0%	0	3%	2	0%	0	0%	0	0%	0
MDRP(多剤耐性緑膿菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MBL(メタロβ-ラクタマーゼ産生菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MDRA(多剤耐性アシネトバクター)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) ※1		63%	151	35%	8	58%	22	26%	6	30%	104
PRSP(ペニシリン耐性肺炎球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)		9%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
BLNAR(β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性 H.influenzae)		21%	15	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
BLPAR(β-ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性 H.influenzae)		4%	3	0%	0	0%	0	0%	0	50%	1
BLPACR(β-ラクタマーゼ産生アモキシシリン・クラバン酸耐性 H.influenzae)		3%	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0

耐性率 = (材料別耐性菌件数) ÷ (材料別対象菌件数) × 100

※1 耐性率 = (材料別 MRSA 件数) ÷ (材料別黄色ブドウ球菌件数) × 100

9 月にバンコマイシン耐性腸球菌(VRE)が呼吸器系材料から 1 件検出されています。VRE とは、バンコマイシンに対して耐性を獲得した腸球菌です。VRE は、*E. faecalis* および *E. faecium* が R プラスミド上にバンコマイシンに耐性の遺伝子である vanA、vanB を獲得したもので、菌から菌へ伝達される可能性があるため、院内感染対策上重要となります。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症は五類感染症の全数把握対象疾患のため以下の場合には届け出が必要となります。

- ①通常無菌的であるべき検体から検出された場合
- ②通常無菌的ではない検体から検出され、感染症の起原菌として判定された場合

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/

検査科微生物係